

令和5年度 学校関係者評価報告書

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎基本の確実な定着と思考力・表現力・判断力の育成 ②「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 ③カリキュラム・マネジメントの確立 	<ul style="list-style-type: none"> ①社会性の育成 ②他者を思いやる心の育成 ③福祉教育の推進 ④道徳教育と「特別の教科 道徳」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①「ヘルシースクール」の推進 体力向上、基本的な生活習慣、食育、安全 ②保健・体育授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①保護者・地域との積極的な連携 ②地域とともに行う学校環境の整備 ③安全・安心な学校づくりの推進
2	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全校では国語・読書が好きだと答える児童が多い。6年学力テストは全国平均と比べ、算数は同等、国語がやや低かった。 ・特に算数は習得の度合いに差が出てしまうので個別に支援が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は多くの児童が返す。自分から積極的にという点は課題である。 ・児童の規範意識は高く、友達に対してもやさしく接する子が多い。 ・いじめについては重大事案はないが、引き続き、相手の気持ちを考えた言動ができるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の課題だった投力についてはかなり向上が見られた。 ・昨年度の課題でああった休み時間等でのけがは減少した。 ・インフルエンザ、コロナ等の感染症は今後も注視する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月にコロナの位置づけが変更され、地域の人材や保護者ボランティア等を活用する活動がしやすくなった。 ・開かれた学校を目指し学校の様子をしっかりと伝えていくことが継続した課題である。
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、周囲と関わりながら学習を深めるよう授業研究に努めた。 ・4・5年に少人数指導教員を活用した算数の習熟度学習を実施。 ・教科担任、交換授業を実施し複数の職員で児童の学習を共有し適切な指導を心掛けた。 ・ICT機器を積極的に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員による挨拶運動を実施。 ・道徳の時間の確保。 ・各学期に生活アンケートを実施。いじめについての記載があったものは全員聞き取りを行い、早期発見・対応に努めた。 ・福栄中ブロックでの福祉教育は終了したが福祉協議会や地域の方の協力を得て車椅子やアイマスク等の体験や人権教育は継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業研修を行い、授業力の向上、運動量の確保に努めた。また講師を招き出前授業を実施した。 ・体育旬間をはじめ児童が主体的に体力向上に向かうよう委員会活動を活用し運動の工夫をした。 ・遊び方のルールや校庭使用の工夫等を行いけがの防止に努めた。 ・感染症の状況に応じて、学級指導等でマスクや手洗いの徹底をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方々の支援を受け、交通安全や様々な教育活動、学校行事等の充実に努めた。 ・ホームページにて、写真を中心に学校の様子を発信した。また、メールで迅速な情報提供を行った。 ・福栄中ブロックで学校運営協議会を実施した。
4	達成状況 5：十分達成できた 1：全くできなかった	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
		評価 4	評価 4	評価 4	評価 4
5	学校への意見				